

平成29年度田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品の紹介

県内の子どもたちが農業・農村に関心を持ち、その大切さや将来のあり方について考えるきっかけとなるよう、県内の小学5年生を対象に絵画コンクールを実施しました。
本年度は、66の小学校から計552点の応募があり、厳正な審査の結果、9作品を知事賞などに選出しました。

■知事賞■



「苗を育てる」
湖西市立下田小学校
野村 未来さん

■県教育長賞■



「石がきのたなか」
高島市立青柳小学校
伊東 優花さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 会長賞■



「今日も収穫頑張ろう！」
大津市立田上小学校
竹村 侑衣日さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 大津・南都支部長賞■



「私たちが植えた、たんぼとかかし」
草津市立草津第二小学校
林 姫子さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 甲賀支部長賞■



「ぼくの田植え」
湖西市立下田小学校
谷 蔵乃佑さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 東近江支部長賞■



「じいちゃんのきゅうりは世界一」
東近江市立能登川南小学校
勝間 志央さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 湖東支部長賞■



「京ニンジンを作る農家の人」
彦根市立河瀬小学校
高橋 愛悠さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 湖北支部長賞■



「田んぼと生きもの」
長浜市立永原小学校
八子 瑠希さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会 高島支部長賞■



「ぼくの田んぼで働くおばあちゃん」
高島市立安曇小学校
仲宗根 瑠堂さん

編集後記

★このたよりが皆様のお手元に届く頃には、平昌五輪が開幕し熱い戦いが繰り広げられていることと思います。我々も「まるごと」の活動を頑張らしましょう。(A.V)

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

- 本協議会は、活動組織への支援として技術研修会の開催や情報発信などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

農村まるごと

検索

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

まるごとだより 第42号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



『平成29年度滋賀県農業・農村活性化フォーラム』を開催しました

平成29年11月26日(日)、近江八幡市のアクティ近江八幡の多目的ホールにおいて、「豊かな農業地域づくりを目指して！」をテーマに、『平成29年度滋賀県農業・農村活性化フォーラム』を滋賀県と共に開催しました。

■開催の状況■



参加者の皆さん



絵画コンクールの表彰



※受賞作品は最終ページに掲載しています。

目次

☆平成29年度滋賀県農業・農村活性化フォーラムを開催しました

☆平成29年度第2回滋賀県農村振興交付金制度審議会が開催されました

☆活動組織の広域化について

☆アンケート調査の結果について

☆平成29年度第2回農村まるごと保全技術研修会を開催しました

☆平成29年度田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品の紹介



事例講演①
農事組合法人
すくいえのうどん屋
顧問 小倉 剛氏



事例講演②
NPO法人
とうもろの会
理事長 名倉 光子氏



講演
滋賀県立大学
地域共生センター
准教授 鶴岡 修氏

今年度実施した「田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール」の受賞作品を紹介し、知事賞および 推進協議会会長賞の受賞者に賞状と副賞を手渡しました。また、事例講演および講演では、若い方や女性の方の参画を促す方法や、集落での話し合いの方法に関する具体的な説明など、今後の「まるごと」の活動を行っていくうえでのヒントとなるお話をさせていただきました。

平成29年度第2回滋賀県農村振興交付金制度審議会が開催されました

平成29年12月18日(月)、高島市の新旭公民館において、平成29年度第2回滋賀県農村振興交付金制度審議会が開催されました。

活動組織へ助言指導を行うことが、当審議会の職務の一つとなっており、当日は組織の広域化の先進事例である広域活動組織「水土里を守る会新旭地区」が広域化を行った経緯や活動状況の説明をされ、委員から『土地改良区を単位とした広域組織の取組として、非農家を含めるために自治会などに非常にうまく働きかけられている』や『当地区の取組は、他地区の参考になる』といった意見をいただきました。

発行 (2018.2)
滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全推進協議会

〒521-1224
東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内
電話 0748-42-4806
FAX 0748-42-5574
Email kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

活動組織の広域化について

問題点

◆役員Aさんの声◆

実績報告書類の作成などの事務が大変なので、次の5年間も活動を継続することは難しい・・・。

◆事務担当Bさんの声◆

活動開始以来ずっと事務担当をしてきたので、そろそろ誰かと代わりたいが後継者がいない・・・。

◆集落代表Cさんの声◆

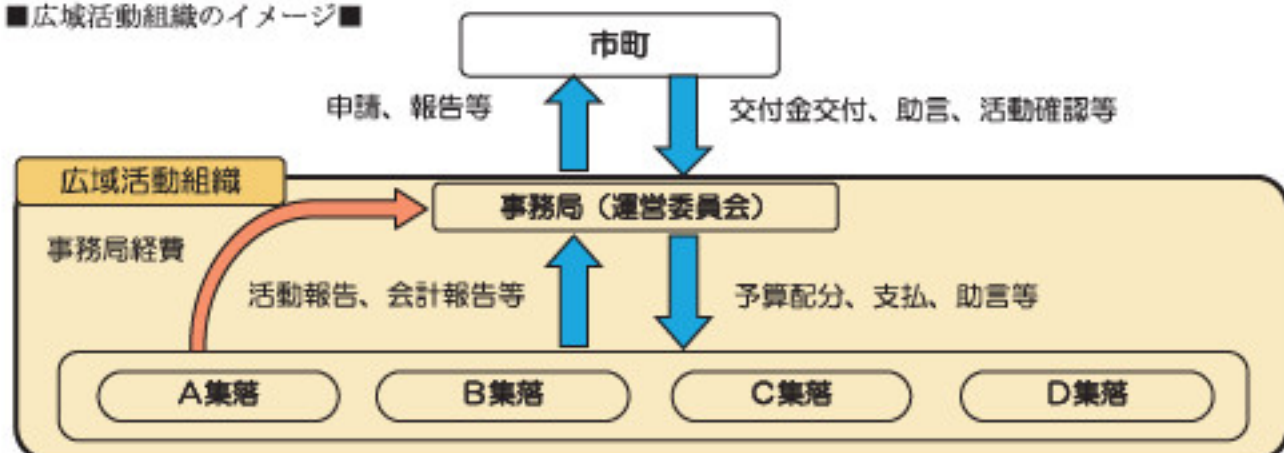
「まるごと」に新たに組みたいと思っているが、活動の企画や書類の作成などが出来るか不安・・・。

これらの課題を解決する一つの手段が「活動組織の広域化」です。

◆活動組織の広域化とは・・・◆

市町単位や旧市町単位、土地改良区単位などの広域エリアにおいて、複数の既存活動組織（または集落）からなる組織を設立し活動を実施することです。組織を運営する事務局（運営委員会）が書類作成などの事務を担うので、各集落（既存活動組織）では草刈りや泥上げ、水路の簡易補修などの実践活動に重点を置くことができます。

■広域活動組織のイメージ■



広域化のメリット

①作成書類が大幅に減少

市町に提出する書類は事務局が作成するため、各集落は事務局に提出する必要最小限の書類を作成するだけで済みます。

②複雑な手続が不要

保険の加入や工事の発注などは事務局が行うため、各集落は複雑な手続をする必要がありません。

③生きもの調査等の企画が不要

生きもの調査等のイベントの企画は事務局が行うため、各集落はイベントに参加するだけで済みます。

④検査等の対応が不要

農政局が行う抽出検査等の対応は事務局が行うため、各集落の役員が対応のために時間を必要はありません。

デメリット

事務局経費捻出による交付金の減少

事務局の運営経費を各集落の交付金から出し合う必要があるため、各集落の交付金額が今までよりも少なくなります。

アンケート調査の結果について

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会では、平成30年度末に活動期間の終期を迎える活動組織の皆さんを対象としたアンケート調査を平成29年9月に実施致しました。

ここで寄せいただいた皆さんのご意見やご意向を参考に、平成31年度以降も活動組織の皆さんに活動を継続していただくための方策を検討したいと考えています。ご協力ありがとうございました。

■アンケート調査結果（抜粋）■

質問：現在の活動期間が終了したあと、次の5年間も活動を実施される予定ですか？

回答：

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. はい（農地維持活動のみを実施する予定） | 17% |
| 2. はい（農地維持と資源向上(共同)活動を実施する予定） | 55% |
| 3. いいえ（継続しない予定） | 6% |
| 4. わからない | 22% |

「3.いいえ」または「4.わからない」と回答された組織の主な理由

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ・まとめ役（リーダー的役割）を引き受ける人がいないため | 71% |
| ・事務を担当する人（引き受ける人）がいないため | 70% |
| ・実績報告書類の作成などの事務が大変なため | 70% |

★上記を解決する手段の一つとして、「活動組織の広域化」があります。滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会では、県内の農地や農業用施設を維持・保全し、豊かな農村の恵みを維持していくために「活動組織の広域化」を推進し、活動の継続または新たな活動の開始を後押しすることにより、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の取組面積の維持・拡大を図ります。

平成29年度第2回農村まるごと保全技術研修会を開催しました

平成30年2月3日（土）、野洲市のさざなみホールにおいて、「平成29年度第2回農村まるごと保全技術研修会」を滋賀県みずすましセンター、滋賀県アセットマネジメントセンターと共催で開催したところ、県内各地より約150名の方のご参加をいただきました。ご参加いただいた方、お忙しい中ありがとうございました。



講演
滋賀県水・エコ技術協会
水嶋 俊朗氏



講演
(公財)滋賀県水産振興協会
中新井 隆氏



先進事例(広域化)紹介
鴨川水土里グループ
萬木 敏文氏

水嶋氏より水路の補修方法や環境に配慮した水路の紹介、中新井氏より魚道設置についての事例紹介、萬木氏より鴨川流域土地改良区受益地内での「まるごと」組織の広域化への取組について過程を紹介していただきました。

参加者の皆さんは、講演や事例紹介について、興味深く耳を傾けていらっしゃいました。

お知らせ

★裏のページで紹介する平成29年度田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品全9点の展示を以下の会場で実施する予定です。

①日時：2月24日（土）
12:00～16:30
場所：かふか生涯学習館 2階研修室（甲賀市甲賀町大原中）
「地域の底デカラ（地球研地域連携セミナー甲賀）」において



②日程：2月27日（火）～3月10日（土）
場所：あいとうエコプラザ菜の花館展示室

③日程：3月14日（水）～3月23日（金）
場所：県庁2階 本館新館連絡通路

ご近所お問い合わせの上ご来場いただき、県内の小学5年生の子どもたちが描いた生き活きた絵画をぜひご覧ください。

